

EXPOグリーンチャレンジについて

2023年11月7日 第2回資源循環ワーキンググループ

公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会
企画局 持続可能性部 資源循環課

EXPOグリーンチャレンジの概要

「万博をきっかけ」として脱炭素の取り組みを
「EXPOグリーンチャレンジ(GC)」と名づけ、
大阪・関西から全国へ広げていく



- ・大阪・関西万博来場者の皆様への歓迎の気持ちを込めて、来場者由来の排出量削減を目指した取り組みを行う
- ・ラストワンマイル排出量相当の削減を第一目標
- ・取り組みを全国に広げ、来場者由来のCO2排出量相当の削減を目標とする

来場者（約2,820万人）由来のものをはじめとした温室効果ガス排出量（SCOPE 3）推計

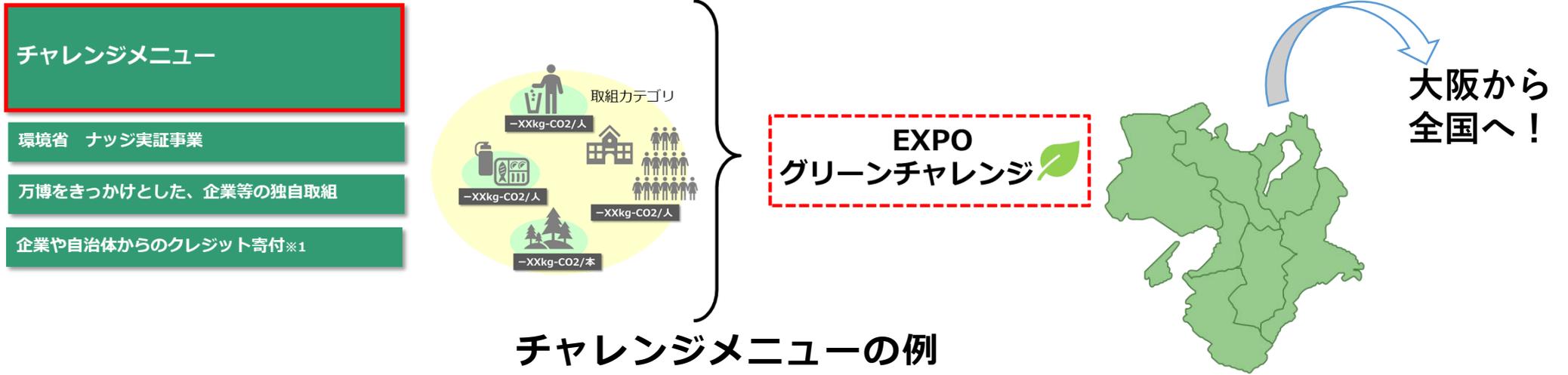
来場者や建設等にかかる排出量	411万t
（来場者のラストワンマイル※排出量	5.7万t）
（来場者の移動・宿泊にかかる排出量	293万t）

※ラストワンマイル・・・万博来場への最後の交通手段
（参考：大阪府における一年間の排出量推計 4,395万 t（2020年度））



EXPOグリーンチャレンジ チャレンジメニューについて

EXPOグリーンチャレンジのチャレンジメニューとは、個人の脱炭素行動によるCO₂削減量をアプリを通じて可視化し、万博会期前から取り組めるようにするもの。個人が活動しやすい環境を整えるために企業や学校、自治体などと連携していく。



チャレンジメニューの例

廃食用油 リサイクル※2	マイボトル	省エネ行動	ごみ拾い	食べ残しゼロ
旅行	宿泊先でのマイ歯ブラシ利用 (ホテルなどのプラ削減)			

※1 クレジットなど第三者認証機関の認証を得ているものに関しては、万博におけるGHG排出とのオフセットとして活用する。
 ※2 廃油から精製した高純度バイオディーゼルを、会場内や会場建設建機で使用することで、万博におけるGHG排出量の削減に貢献します。
 当該資料は2023年10月時点でのものであり、今後変更となる場合がございます。

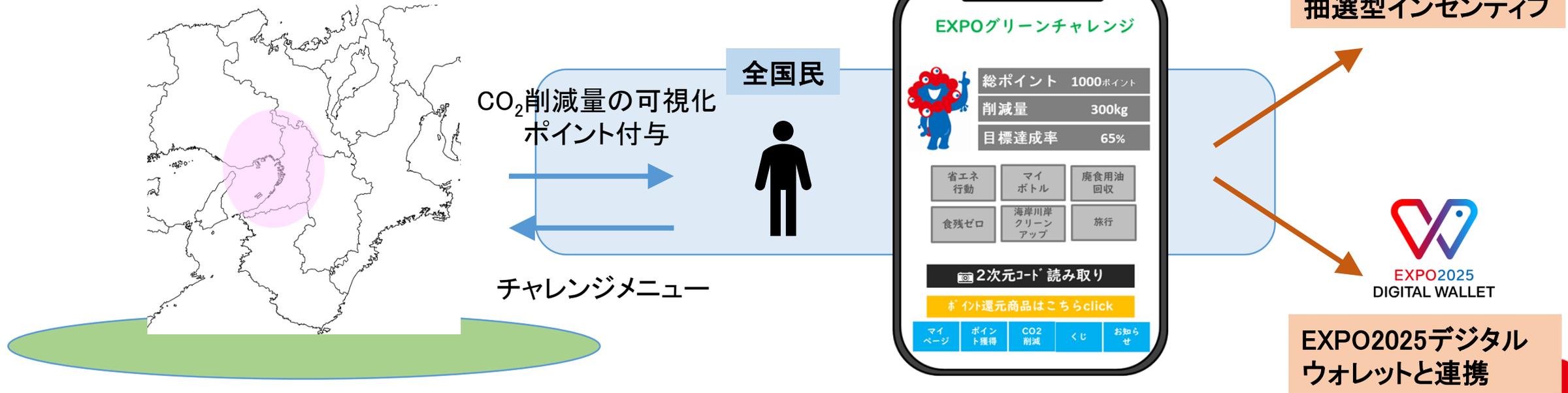


EXPOグリーンチャレンジアプリ

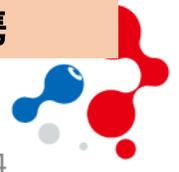
チャレンジメニューに取り組んで頂くためのアプリを制作

- ・チャレンジメニューに取り組むと金銭的価値を持たないポイント付与
ポイントを貯めて抽選に参加し当選すると商品をプレゼント
- ・アプリは2024年1月に稼働開始予定

まずは大阪府・関西広域連合の
エリアを中心に展開し全国へ



※ 画面デザインはイメージであり、実際のものとは異なります



チャレンジメニューの取り組み内容

チャレンジメニュー	取り組み内容
家庭用廃食用油の回収	各家庭で使用済みとなった廃食用油を、ペットボトルに入れてリサイクルBOXへ持参する。持参したら二次元コードを読み取ることで、ポイント付与。回収された廃食用油は、BD（バイオディーゼル）やSAF（Sustainable Aviation Fuel）等にリサイクルする。
マイボトル	テイクアウト飲料購入に際してマイボトルを使用する行動やペットボトルなどに入った飲料を購入せずにマイボトルへ給水する行動などのペットボトル使用削減行動を対象とし、自己申告にてポイント付与。
省エネ行動	全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）が全国の59の地域センターを通して行う、うちエコ診断に参加したら二次元コード読み取りでポイント付与。
食べ残しゼロ	個人を対象に、飲食後の食べ残しゼロに対する行動を対象とし、自己申告にてポイント付与。
ごみ拾い	海洋や街中等において、ごみによる汚染防止に取り組むために、落ちているごみを拾い、川、海への流出を防ぐ。イベント参加（規模問わず）による取り組みを対象とし、参加後自己申告にてポイント付与。
旅行	大阪市が実施している脱炭素化ツアー事業と連携し、カーボン・オフセットの仕組みを取り入れた旅行や、温室効果ガスの排出量の少ない旅行（主に修学旅行を想定）に参加した場合、二次元コードを読み取りしポイント付与。（旅行会社等と連携）
宿泊先でのマイ歯ブラシ利用 （ホテルなどのプラ削減）	宿泊するホテルの使い捨て歯ブラシを使用せず、マイ歯ブラシを持参し使用する行動を対象とし、自己申告にてポイント付与。

